

| | | | |
|-----------|------------------------------|------|------|
| 開講日 | 2021年春期 火曜日 18:30-20:00 | 講義場所 | 配信のみ |
| コースディレクター | 名古屋市立大学大学院 臨床感染制御学分野 教授 中村 敦 | | |

| | |
|----------------|--|
| 科目概要および期待される成果 | <p>【概要】薬剤耐性菌 (AMR) の時代と云われる現代において、AMRを低減させるためのグローバル・アクションプランがWHOで採択され、わが国も2016年にAMR対策アクションプランを公表しました。2020年はその成果を検証する年です。一方、2019年末から出現した新型コロナウイルス感染症は急速にその版図を拡げ、2003年のSARSを超える規模となって世界を震撼させています。さらに、本年は東京オリンピック/パラリンピックの開催により世界各地から大勢の外国人が来日するため、さまざまなインバウンド感染症の対策も怠りなく進めなければなりません。本講座では、日頃より感染症診療、感染管理に関わっているさまざまな職種専門家の最新の情報・感染対策の最新情報発信します。</p> <p>【期待される成果】感染症に関する基本的知識に加え、最新の情報や現在抱えているさまざまな問題を学ぶことにより、安心・安全で質の高い医療を提供できることを目指します。</p> |
| 目標とする資格 | ICD制度協議会: インфекションコントロールドクター, 日本感染症学会感染専門医, 日本化学療法学会: 抗菌化学療法認定医/指導医・認定歯科医師/指導医・認定薬剤師, 日本看護協会: 感染管理認定看護師, 日本病院薬剤師会: 感染制御認定薬剤師, 日本臨床微生物学会感染制御認定臨床微生物検査技師 (ICMT) |

| サブカテゴリ | No | タイトル | 講義概要 | 開講日 | 講師(所属) |
|--------|----|---------------------------------------|---|-------|--|
| L-1 | 1 | COVID-19、EVD、結核、梅毒... 新興・再興感染症を考える | 新型コロナウイルス感染症などの新たに公衆衛生上問題となった新興感染症、結核や梅毒などが流行しており最近再び問題になっている再興感染症の現状についてご紹介します。 | 4月7日 | 名古屋市立大学病院 感染制御室 室長 中村 敦 |
| L-2 | 2 | AMR対策において求められる微生物検査 | 感染症診断・治療にあたり病原微生物の迅速な特定は必須であり、薬剤耐性 (AMR) 対策においては耐性菌の正確かつ迅速な検査もまた重要です。これらの情報に加え、検査の質に関わる適切な検体採取や、感染症の迅速診断として有用なグラム染色等、臨床に有効な情報を発信するための微生物検査についてお話しします。 | 4月14日 | 名古屋市立大学病院 感染制御室/中央臨床検査部 微生物検査係 堀 薫 |
| L-3 | 3 | ASTで話題になる抗菌薬の適正使用～この使用はありや？なしや？～ | ASTで話題となる抗菌薬の適正・不適切使用の具体例を提示し、抗菌薬の適正使用の基礎となる考え方を皆さんとreviewします。 | 4月21日 | 名古屋市立大学病院 消化器外科 助教 柳田 剛 |
| L-4 | 4 | 知っておきたい感染症治療薬 | 細菌感染症の治療において患者の予後を改善するためには、的確に感染症の診断を行い、最も効果的な抗菌薬を適正に投与することが重要です。抗菌薬の「基本的知識」から「実際にどう使うか」まで、わかりやすくお話しします。 | 4月28日 | 名古屋市立大学病院 感染制御室/薬剤部 感染制御専門薬剤師 和知野 千春 |
| L-5 | 5 | 感染症ってどうやって診断するの？ | 細菌感染・ウイルス感染など、さまざまな感染症がありますが、発熱などのさまざまな症状から、感染症と他疾患との鑑別、感染症の診断に至るまでについてのお話しをします。 | 5月12日 | 名古屋市立大学病院 総合内科 講師 田中 創始 |
| L-6 | 6 | 感染症の管理 | 重症感染症患者においては診断、治療の結果がそのまま命に関わる可能性があります。ただ重症感染症の診療においても感染症診療の原則は変わらず、感染症の存在、感染臓器・原因微生物の整理、適切な抗菌薬の投与が重要となります。本講座では敗血症をはじめとした重症感染症の管理の実践についてお話しします。 | 5月19日 | 名古屋市立大学病院 麻酔・集中治療科 助教 佐野 文昭 |
| L-7 | 7 | 外科医が遭遇する感染症 | 外科医が遭遇する感染症には、感染症自体が手術治療の対象となる外科感染症と、術後合併症としての感染症(手術部位感染)があります。最近のトピックスや実践例を紹介いたします。 | 5月26日 | 名古屋市西部医療センター 消化器外科 部長 若杉 健弘 |
| L-8 | 8 | 災害時に注意が必要な感染症 | 災害時に避難所や災害現場で注意が必要な感染症とその対応についてお話しします。 | 6月9日 | 名古屋市立大学大学院医学研究科 先進急性期医療学 教授 松嶋 麻子 |
| L-9 | 9 | 基本から学ぶ感染対策 | 標準予防策は患者と病院従事者等を守る基本的な対策ですが、これらの実践により薬剤耐性菌の伝播を阻止することもできます。具体的場面をふまえて基本を復習し、さらに輸入感染症に備えるために何をすべきかを考えます。 | 6月16日 | 名古屋市立大学病院 感染制御室 副室長 小川 綾花 |
| L-10 | 10 | 院内感染対策における微生物検査技師の役割 | 早期に病原性微生物の検出・特定を行うことは、院内感染対策においては必須であり重要です。これらの情報の発信源ともなる微生物検査技師の役割と、多様化する耐性菌・院内感染原因菌の検出検査方法までをお話しします。 | 6月23日 | 名古屋市立大学病院 感染制御室/診療技術部臨床検査技術科 微生物検査係 近藤 周平 |
| L-11 | 11 | 感染症診療、感染対策における薬剤師の役割 | 抗菌薬、上手に使えていますか？抗菌薬は病原菌を壊したり、増えるのを抑える一方で、耐性菌を増やす一因にもなります。抗菌薬適正使用における薬剤師の役割について、当院のAST・ICT活動を紹介しますながらお話しします。 | 6月30日 | 名古屋市立大学病院 感染制御室/薬剤部 感染制御認定薬剤師 朝岡 みなみ |
| L-12 | 12 | 知らない怖い 事例から学ぶ、感染症と医療安全 | 医療従事者にとって感染症と医療安全は知識として持っておくべき大きな項目の一つです。今回は実際の事例を通じて感染症と医療安全について解説し、実臨床の中で知っておくべき項目をピックアップしたいと思います。 | 7月14日 | 名古屋市立大学病院 医療安全管理室 副室長 加藤 裕史 |